ISSN 0919-195X

2025年7月1日発行

KPA

神奈川県理学療法士会

(公社)神奈川県理学療法士会ニュース

The Kanagawa Physical therapy Association News

7 2025 July No.304

http://www.pt-kanagawa.or.jp

Kanagawa Physical therapy Association

○発行｜神奈川県理学療法士会　○代表｜内田　賢一　○編集｜武田　正一
○発行所｜〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号　Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226　E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数［2025.6.2現在］ 5,733名

Contents

P1▶巻頭言　P3▶総務部報告　P4▶災害対策部報告　P6▶ライフサポート部報告
P8▶新人教育部報告　P9▶生涯学習部報告　P10▶リハ手帳普及部報告
P11▶研修会・講習会　P14▶会長行動　P15▶information　P16▶編集後記／原稿送付先

巻頭言

人と人を繋ぐ理学療法

第42回　神奈川県理学療法士学会　学会長　清水 陽平
社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス
介護老人保健施設コスモス

第 42 回神奈川県理学療法士学会は、「人と人を繋ぐ理学療法」をテーマとしています。

このテーマは、本学会で発信したい私のメッセージです。

新卒で就職した私の希望は病院での勤務でしたが、配属されたのは介護老人保健施設でした。なかなか受け入れることができず、老健で勤務していることを隠すように、人と繋がることを避けていました。

そんな私でしたが、入職 4 年目にはリハ部門のトップを任され、どうやったら老健のリハビリテーションが面白くなるのかを職場の皆と考えながら、泥臭く仕事に取り組み始めた思い出があります。これが、理学療法士として人との繋がりを意識し、チームで利用者さまに貢献したいと気づいた最初の経験です。

2015 年には地域のリハビリテーション連絡会を発足し、ここでは何でも言い合える地域の理学療法士とたくさん繋がりました。今では医療側のセラピストはもちろんですが、横浜市磯子区の多職種連携会議にも加わり、関連職種や行政職の方々とも繋がることができました。

私は、多彩な人と人との繋がりで、リハビリテーションの網を広げることが出来ると感じています。理学療法士として、一歩踏み出し自分を知ってもらう、貢献していけることが自信となり、さらなる人との繋がりが生まれる。その繋がりが、より仕事を面白くする循環となります。

今回の学会は、そのようなきっかけとなることを心より願って、企画しました。

学会で繋がるこだわりの 3 企画

「病期にとらわれない 1 つのリハビリテーション理学療法士を繋ぐ」

各病期の理学療法士の熱意を繋ぐ、想いの乗った連携について考える企画です。

「知っているようで知らない　関連職種を繋ぐ」

ご利用者さまの 24 時間…役割分担を深めます。

「昭和な先輩と平成の若手　世代を繋ぐ」

県民公開講座では、主に看護教育や看護管理領域で多数の講義を行っている平林 慶史氏からご講演いただきます。私たちが日頃「育つ側」と「育てる側」とでそれぞれに感じている食い違いは、どこから生じてしまうのか？多様性のなかで「主体性」を育む人材育成とは？といった内容を予定

巻頭言

しています。

加えて、経験年数の少ない理学療法士のみを対象として、それらの方々が情報共有できるような企画も検討中です。

横浜南部地区に勤務する多彩な実行委員のメンバーが一丸となり、10 年後も繋がっているような学会をおもてなしの心とともにお届けします。

2 月 1 日（日）パシフィコ横浜で会いましょう。

有限会社 木村義肢工作研究所

みなさまのご要望に真摯に向き合い
生活を手助けするものづくりを提供して参ります

〒247-0006 横浜市栄区笠間三丁目 40 番 5 号
TEL045-892-5424 FAX045-894-2560 www.kimura-gishi.co.jp

快足インソール
Kai Soku Insole
特許取得済み
特許7095847号
国際特許申請済み
清潔な抗菌・防臭仕様

自分の足形がすぐに採れて
歩行を快適にサポート!

カンタン! 自分だけのインソールがすぐできる!
電子レンジですぐできる
1 「快足インソール」を電子レンジで使用するシューズの中に 500W・50秒間加熱します
2 「快足インソール」を入れます
3 シューズを履きスクワットし、体重をかけ自分の足型を作成

▶特許技術で、自分に最適な足形のインソールが簡単に作れます
▶足にバランス良く圧力をかけられる理想的なアーチを作り、バランス能力・運動機能をサポート
▶電子レンジで再度加熱し、足形を作り直せるサステナブルなリユース可能商品
▶S(22~24cm)・M(24~26cm)・L(26~28cm)の3サイズをラインナップ
本商品は医療器具ではありません。ケガや疾病の予防や改善を謳うものではありません

商品詳細はこちらから

●発売元 GSI Creos ㈱GSIクレオス アパレル部 TEL.06-6944-2626 https://www.gsi.co.jp
●企画元 ㈱あたらし家 https://atarashiya-nh.com （公社）日本介護福祉士会 会員
ASAHI 株式会社旭無線

松田 浩平

令和7年度　新人オリエンテーション開催報告

令和 7 年 4 月 27 日（日）、昨年に引き続き対面開催による新人オリエンテーションを開催し、昨年度を超える 224 名の新人理学療法士の方々にお集まり頂きました。

内田会長をはじめとする講師の方々より、県士会の組織や生涯学習制度、入会方法についてのご説明や、ブロック活動、スポーツ関連事業、災害対策等の活動についてもご講義頂きました。加えて今回も来年 3 月に開催される予定の神奈川県理学療法士学会についてのお知らせや PT 協会団体保険についてのご紹介も頂き、充実した内容のオリエンテーションとなりました。

また、日本理学療法士協会理事、参議院議員の小川かつみ氏、日本理学療法士協会 政策参与、参議院議員の田中まさし氏、神奈川県健康医療局の伊東大介氏、神奈川県理学療法士連盟 顧問の田村ゆうすけ氏、神奈川県議会議員の方々よりご祝辞を賜りました。

業務の都合などで当日参加出来なかった方も、講義資料は神奈川県理学療法士会のホームページからダウンロードが可能です。また、県士会公式の LINE アカウントも開設されておりますので、新人の方のみでなく、既に会員になられている方も奮ってご登録をお願い致します。

末筆ではありますが、新人オリエンテーションの開催にあたりご案内を周知下さいました各施設の責任者の皆様、運営にご協力頂いた県士会事務所の皆様、役員各位・各部の担当の皆様に心より感謝申し上げます。来年度の開催も、どうぞよろしくお願い致します。

事務局　下田 栄次

緊急事態下における理学療法の役割を問う ～ World Physiotherapy Congress 2025に参加して～

2025 年 5 月 29 日～ 31 日にかけて開催された World Physiotherapy Congress2025 において、「Physiotherapy in conflict and emergency settings（紛争および緊急事態下の理学療法）」をテーマにしたセッションに参加しました。本セッションでは、高齢者を含む脆弱な人々への支援を軸に、自然災害や武力紛争下におけるリハビリテーションの現状と課題について、熱のこもった議論が交わされました。

World Physiotherapy Congress 2025

まず重要な視点として強調されたのが、「自然災害（earthquake など）＝自然要因による緊急事態」という認識と、「紛争＝人為的要因による長期的・複雑な緊急事態」は、別の文脈で捉えるべきという指摘でした。災害は突発的で時限的なものだが、紛争は終わりの見えない混乱であり、被災地の人々が長期にわたり危険に晒されることになります。実際に、ガザ地区、ウクライナ、大規模地震災害にも見舞われたミャンマーといった現在進行形の紛争地では、医療インフラが破壊され、リハビリテーションの提供どころか人命の確保すら困難な状況が続いています。

しかし、こうした場面においても理学療法士の存在は不可欠であります。セッション内では、「リハビリテーションは人道支援の“回復期”ではなく、“初動”から必要とされるべきである」と強く訴えられていました。にもかかわらず、緊急事態対応に特化した理学療法士の人材育成は、世界的に見ても十分に進んでおらず、臨床経験豊富な一般の理学療法士が、準備のないまま現場に投入されるケースも少なくないのが実情です。

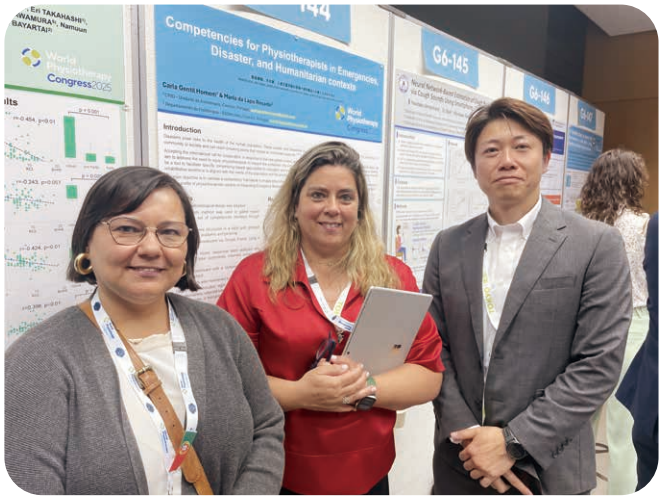
教育面での対策として、大学などの教育機関が中心となり、「人道支援・障害・紛争地におけるリハビリテーション」に関する講義や実践演習を、学部教育に取り入れる重要性が語られました。特に大学などの教育機関にいる理学療法士こそが、その改革の起点となるべきで、臨床現場だけでなく、教育・制度・政策レベルでも“備え”が必要だと、ガザ地区からリモートで参加したスピーカーも強く訴えていました。

質疑応答では「この分野の理学療法を制度に位置づけるには、研究による可視化とエビデンスの構築が不可欠である」という意見も多数聞かれました。理学療法士の役割を正しく評価してもらうには、リハビリテーションニーズに基づいた資源計画、信頼性の高いデータ収集、そして各国の健康政策（Physical Inactivity など）や災害・人道支援の枠組みに理学療法を組み込むための政治的な働きかけも求められます。

特に印象深かったのは、発言者の一人が語った *"So we really do need to raise the sort of awareness of the research and to bring that out, because otherwise it's not going to take us anywhere, really."* 「私たち自身が変わらなければ、世界は変わらない」という言葉でした。このセッションでは、臨床家・研究者・教育者が国境を超えて集まり、それぞれの

立場から課題を共有し、どう未来を切り拓くかを本気で語り合うことができました。そうした場こそが、グローバルな理学療法の可能性を拡げる原動力になると確信することもできました。

日本にいる私たちも、こうした世界の動向から目を背けてはいけないように思います。災害大国である日本は、「自然要因による緊急事態」対応には一定の経験と体制が構築されつつあります。しかし、武力紛争や人道危機といった“越境型の課題”に対しては、まだ十分な議論や準備がなされていないのが現状ではないでしょうか。今こそ、国内外のネットワークを活用しながら、緊急事態下におけるリハビリテーションを「特別なもの」から「あたり前の支援」へと昇華させていく必要があると思いました。



ポルトガル・カスカイスを拠点に活躍される Carla 先生（左）と Maria 先生（右）

緊急・災害・人道支援における理学療法の在り方に関心を寄せ、国際的な取り組みに尽力されています。

Carla 先生は、障がい者支援を目的とした地域リハビリテーション施設「CRID – Unidade de Fisioterapia」に所属し、臨床の現場から人道支援活動を実践されています。

Maria 先生は、教育機関「ESSAlcoitão」に所属し、教育・研究の視点から災害・緊急対応における理学療法の発展に貢献されています。WPC2025 では、「緊急・災害・人道支援における理学療法士のコンピテンシー」に関する演題発表を行われました。

株式会社エヌ・エフ・エーは
保険を通じて暮らしやビジネスを
サポートします

NFA
株式会社　エヌ・エフ・エー
保険のトータルプランナー
〒110-0015
東京都台東区東上野1丁目6-2 荒井ビル2階
TEL.03-5818-0711（代表）FAX.03-5818-0710
https://www.nfa-ins.co.jp

西田 友紀子

全国に先駆けて取り組む ライフサポート部員を紹介☆
私たちの考える“働きやすさ”とは～

ライフサポート部 活動報告 職場環境を考える 第87報

本誌でのライフサポート部の活動報告も、おかげさまで第 87 報を迎えました。多くの方が直面する、妊娠・出産や育児に関する休暇の取りづらさ・・・。20 代、30 代を悩みながら過ごす方々の声を聞く中で、私たちはこの活動の意義を日々実感しています。ライフサポート部のメンバーにも子育て中のスタッフが増え、多様な立場や考えを持ち寄りながら活動を続けています。そこで今回は、「働きやすさとは！？」をテーマに、ライフサポート部員に一言インタビューを実施してみました。ぜひご覧いただき、皆さん自身の“働きやすさ”についても考えるきっかけになれば幸いです。

ライフサポート部の活動は、年に数回の Web 会議と企画した事業の実施が中心です。新しいアイデアも実現に向けて一緒に動いていきます。少しでも興味を持ってくださった方は、ぜひお気軽にメールでご連絡ください。一緒に活動できることを楽しみにしています。

メール：life-support@pt-kanagawa.or.jp

「こうあるべき！」がそうでもないらしいと、空気感と自分の体が伝えてくるようになりました。とはいえ、考え行動し続けるしかないのは変わりません。今年は「育休と仕事」の切り口から働く環境について一緒に考えましょう！

（聖マリアンナ医科大学病院　寺尾）

パパ育休も急速に広まり、育休取得する側の話はよく耳にするようになりましたが、対応する側は皆様どうされているのかが気になっており、そんな話も聞こえてくるといいなと思っています！

（横田リハビリセンター　中曽根）

誰もが働きやすい職場環境を提案できたらと思い活動しています。皆さんは仕事、家庭、趣味のバランスは取れていますか？同僚や家族、友人とコミュニケーション取れていますか？私の本年度の目標です！

（川崎市立多摩病院　西山）

今は働く環境を作る一員ですが、将来自分が育休や産休を使う立場になった時、「どのように仕事を続けていけるのか」「どのような発信をするといいのか」、日々の活動が考えるきっかけになっています。

（川崎市立川崎病院　鴨志田）

価値観が多様化している中、働き方も多様化してお互いの価値観を認め合う職場環境を整える必要があると感じます。第一歩はお互いの価値観を知ることから！私たちと一緒に働きやすい職場づくりに取り組みましょう！！

（Good Posture　杉山）

育児休業制度改正、政府は男性育休取得率を 2025 年までに 50% としています。皆さんの職場は、正しい知識を持ち、取り組めていますか？全ての理学療法士が働きやすい環境になるため、情報を発信していきたいです！

（ルネサンスリハビリステーション戸塚　井下）

活動報告Ⅲ　ライフサポート部

私たちは専門職である理学療法士です。単にライフ・ワークバランスではなく、どこかのCMみたいに♪ハッピーライフ、ハッピーワーク♪になるような働き方改革にしたいな、と思います。

（横浜新緑総合病院　玉井）

今の職場環境はどうですか？急なお休みの時や子供の発熱の時などの対応はどうですか？様々な制度も活用できるので、それぞれのワークライフバランスの中で働きやすい職場環境について一緒に考えてみませんか？　（アットリハ和田町　関田）

「イクメン」も当たり前な今。テレビで目にする企業での取り組みは、医療現場では非現実的で、おいてきぼり感を感じます。人に関わる医療職だからこそ、職員やその家族を考えられる現場であってほしいと思います。

（ケアーズ訪問看護リハビリステーション上大岡　多田）

育休など、ライフイベントと仕事の両立を支えられるような仕組みづくりに関わっていければと思っています。まだまだ勉強中ですが、よろしくお願いします！

（横浜リハビリテーション専門学校　岩佐）

医療業界は育児や介護と両立しながら働くには制度が十分とは言えません。管理職になっても職場環境の改善はいつまでたっても課題です。だからこそ、施設同士で良い点を共有し合い、自施設での取り組みに役立て、生き生きと働けるPTを一人でも多く増やしたい…そんな想いで日々取り組んでいます。

（川崎幸病院　西田）

研修会 & 交流会　開催案内

テーマ：「妊娠中の身体の変化」を知って妊娠しても働き続ける職場について考えよう！
日　時：令和7年9月28日（日）13：00～16：00
講　師：安藤瑞季氏（mama care 湘南：理学療法士）　**参加形式：**オンライン（Zoom）
内　容：「妊娠中の身体の変化」について、ウイメンズヘルス領域で活動されている理学療法士を講師として、妊娠中のからだについて教えていただきます。後半からは、現在の問題点や解決策についてグループディスカッションを行います。産前産後のリハビリに興味のある方、働き方、職場環境にお悩みの方、管理職の方、妊娠出産経験者の方、これからという方、様々な方の参加をお待ちしております。

申込み方法：協会マイページから
（セミナー番号：県士会員 143904　他県士会会員 143905）
参加費：神奈川県士会会員は**無料**（他県士会会員 1,000円）

■県士会ライフサポート部の活動について、
X（旧 Twitter）で発信中！！
毎週2回、これまでの調査・活動報告から最新の活動内容や研修会案内などつぶやいています。是非 フォローをお願いします！！

活動報告Ⅳ　新人教育部

●所属機関の管理者・教育担当者の皆さんへのご連絡

1. 前期研修 D（実地研修）の実施について

今年度入職された新入職員に対して新人教育が開始されているかと思います。その際には、新人教育＝前期研修の実地研修 D（48 時間）となりますので、新入職員のマイページから「受講申請」をしていただきますようお声かけをお願い致します。また、漫然と新人教育をするのではなく、ガイドライン（マニュアル）を用いた新人教育が勧められています。ガイドラインがあることで、教育者や新入職員の目指す方向が明確になります。もし施設独自のマニュアルをまだ作成されていない施設は、D－1：イで用いられる協会が作成した研修ガイドラインを参照して進めてください。このガイドラインは、入職後おおよそ 1 年以内に新人理学療法士職員が到達することが望ましいと考えられる標準的なものを参考として例示しています。院内の研修を見直したい場合もこの新人研修ガイドラインは参考になると思います。

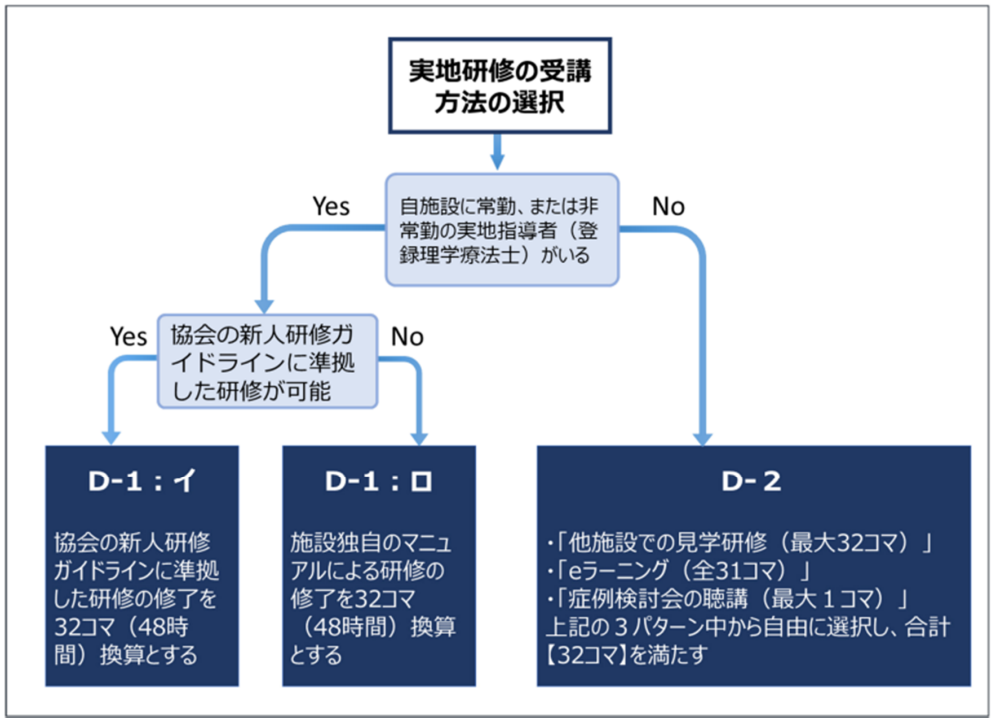


図　実地研修の受講方法選択のフロー図

2. 後期研修 E（事例）を開催していただけていますか？

この時期の研修では、必ず 30 分以上の症例検討を発表または聴講する必要があります（E-1 ～ 3）。本会では、今年も定期的に士会主催症例検討会を開催いたします（下記参照）。しかし 1 回の開催が 50 名と上限がありますので、参加する機会としては十分でないと感じています。そのため、各施設での 30 分以上の症例検討会（士会承認症例検討会）を計画的に開催してください。

士会承認症例検討会の申請方法は、座長（登録理学療法士）がマイページから事前申請をすることになっています。本会では、開催予定の 2 週間前までに申請をお願いしております。また、入力フォームには症例検討の概要等、詳細についても入力をお願いします。記載内容が不十分であると判断された場合、承認できない場合がありますのでご注意ください。申請手続きについては、県士会 HP →生涯学習制度に掲載していますので、そちらをご覧ください。

●今年度入会された会員へのご連絡

4 月に行われました新人オリエンテーションにおいて、新生涯学習制度の概要と前期研修と後期研修を中心にお話させていただきました。ご参加された皆様、ありがとうございました。早速、前期研修を

始めたいと意気込んでいただいている新人の方もいらっしゃるかと思いますが、入会 1 年目の会員の前期研修 A ～ C は、9 月から申請開始となります。今しばらくお待ちください。

実地研修 D については、各施設での新人教育がそれに該当します。開始時期や担当の実地指導者等については、所属施設の施設会員代表者に確認して進めてください。前期研修 D（48 時間）については、マイページから申請が可能です。申請方法などの情報は、PT 協会の HP から確認することが可能です。

●後期研修中の会員、前期研修中で実地研修をD-2で進められている会員へのご連絡

◆士会主催症例検討会（E-1 ～ 3）の日程について

各施設で実施される「士会承認症例検討会」にて積極的にコマの履修を進めていただきたいと思いますが、施設内で開催ができない場合がありますので、今年度も士会主催症例検討会を 9、11 月にオンラインで開催いたします。2 月の県学会では初めての対面での開催を予定しております。

日時	領域	症例数	開催形式	セミナー ID
9 月 28 日（日）	運動器系（E-2）	3	オンライン	143774
11 月 28 日（日）	内部障害系（E-3）	3		143775
2 月 1 日（日）	領域未定	2	対面	申し込み方法検討中

◆士会主催症例検討会申し込み時期について

発表者の応募は開催 2 か月前まで随時募集しています。syoreikentou@pt-kanagawa.or.jp までご連絡ください。

聴講者の応募は開催 2 か月前からマイページにて申し込みが可能となります。本会の LINE や HP にて案内を行いますので、ご確認ください。

前期実地研修について（PT 協会 HP）

実地研修マニュアルについて（PT）

生涯学習制度の履修に関する案内（県士会 HP）

新人教育部のつぶやき…　　新人教育部　藤田峰子（神奈川県立保健福祉大学）

2025 年が始まったと思ったら、いつの間にかに半年が過ぎてしまいましたね…何も成果を出せずに 1 年を過ごしてしまう年が長く続いていましたので、今年は、「やるべきことを見える化」してみました。具体的な方法として、Google カレンダーで事細かにタスクを入力するようにしました。大きな成果はまだ実感していませんが、「タスクを完了する」チェックをすることに毎日小さな達成感を感じています。皆さんにも Google カレンダーでのタスク管理、お勧めですよ！

活動報告Ⅴ　生涯学習部

2025年度　（公社）神奈川県理学療法士会　生涯学習部主催講習会のお知らせ

ZOOM を用いたインターネットによる生配信、録画配信での講習会を複数回、予定しております。
詳細は調整中ですが、決定次第、日本理学療法士協会マイページ等に掲載いたします。
場合によっては、掲載から申し込み〆切までの期間が短くなる場合がございます。
御確認の上、ふるって御参加くださいますようお願いいたします。

【お問合わせ先】

（公社）神奈川県理学療法士会　生涯学習部
E-mail：shogaigakushu@pt-kanagawa.or.jp　　お問合わせはメールでお願いします。

リハビリ手帳の正式運用が開始いたします。

神奈川県理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会の三士会が協働で取り組んで参りました「リハビリ手帳普及事業」が、2025 年 6 月より正式に運用を開始いたします。

本事業は、神奈川県在住のリハビリ対象者およびそのご家族が、リハビリ専門職による評価や助言を紙媒体として保管・活用することで、共にサポートする医療・介護従事者との多職種間における円滑な情報共有を図り、地域におけるリハビリ支援の質向上を目指すものです。

2019 年に超高齢社会に対応した医療提供体制や地域包括ケアシステムの構築のため、神奈川県では「地域医療介護連携ガイドライン」を策定し、今年 4 月に改訂版を提示しております。また国においても、全国保健医療情報ネットワークの構築が進められており、県内でも地域ごとに医療・介護関係者が主体となってネットワークを整備し、多職種連携による包括的な医療情報の共有体制が推進されています。

一方で、クラウド上での情報共有が一部地域で導入されているものの、多くの在宅医療・介護現場では依然として紙媒体による情報伝達が主流であり、DX（デジタルトランスフォーメーション）への移行が求められています。そうした中、リハビリ専門職としての対応力強化および提案力の向上を図るため、三士会が連携し、まずは紙媒体による「リハビリ手帳」を情報共有ツールとして普及させることを目指しております。

本事業の推進にあたっては、2020 年より三士会が協働し、内容の検討や施設への案内、モニタリング調査やアンケート実施、各士会ホームページ・SNS での情報発信などを継続して実施して参りました。ご助言をいただいた多くのリハビリ専門職および関係職種の皆様に深く感謝申し上げます。すべてのご意見を反映することは叶いませんでしたが、慎重な協議を重ねた上で、このたびの正式運用に至りました。

リハビリ手帳は A4 サイズのレール式クリアファイルを基本とし、「案内文」「基本情報」「医療機関・介護保険・障害福祉サービスに関する情報」「ADL」「基本動作」「嚥下機能」「トイレ動作」など、10 枚の基本シートで構成されております。必要に応じて、各士会ホームページより追加シートをダウンロードし、綴じてご使用いただくことが可能です。リハビリ手帳の配布を希望される場合は、各士会ホームページの専用フォームよりご依頼ください。なお、クリアファイルの使用にこだわらず、必要なデータを各施設でダウンロード・印刷してご活用いただく方法も推奨しております。

今後も皆様からのご意見を反映し、内容の改善やシートの拡充を進めて参ります。リハビリ手帳の進捗や関連情報については、各士会のホームページにて随時ご確認ください。

最後に、引き続き本事業へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。あわせて、今後の参考とさせていただくためのアンケートもご用意しておりますので、ぜひご協力のほどよろしくお願いいたします。

リハビリ手帳

アンケート QR コード

研修会・講習会

第12回日本地域理学療法学会学術大会 in EZO

テ ー マ：理学療法士に「しか」「なら」「でも」できること～地域に根差した地域理学療法を自分ゴトとして考える～
日　　程：2025 年 10 月 11 日（土）・12 日（日）
会　　場：札幌市教育文化会館
（札幌市中央区北 1 条西 13 丁目）
大 会 長：田中康之
（千葉県千葉リハビリテーションセンター）
準備委員長：鈴木英樹（北海道医療大学）
大会 HP ：https://www.jsccpt12.net/

現在、「第 12 回日本地域理学療法学会学術大会」の演題登録を受け付けております。
演題登録をご検討中の皆さまは、ぜひこの機会にご準備・ご登録いただけますと幸いです。

お問い合せ：第 12 回日本地域理学療法学会学術大会
事務局担当 只石朋仁（北海道医療大学）

第8回日本がん・リンパ浮腫理学療法学会学術大会のご案内

未来へ繋ぐーがん・リンパ浮腫理学療法の新芽ー

テ ー マ：学術大会
内　　容：この度、下記の通り第 8 回日本がん・リンパ浮腫理学療法学会学術大会を開催いたします。
本学術大会では、「未来へ繋ぐーがん・リンパ浮腫理学療法の新芽ー」と題して、未来を担う若手の研究者、新人理学療法士、理学療法学生を「新芽」に例え、彼らが臨床・研究・教育の場で活躍できる機会を提供することで、がん・リンパ浮腫理学療法の発展と、患者さんの QOL 向上に貢献することを目的として開催いたします。本学術大会が、未来を担う「新芽」の成長を促進し、がん・リンパ浮腫理学療法の発展と、患者さんにとってより良い未来の実現に貢献することを願っております。
皆様、是非ご参加いただけますと幸いです。
開催日時：2025 年 11 月 1 日（土）～ 11 月 2 日（日）
会　　場：埼玉県さいたま市　ソニックシティ小ホール・国際会議室
お問い合せ：第 8 回がん・リンパ浮腫理学療法学会学術大会事務局
E-mail：8congress@jsptol.jspt.or.jp
SNS：X アカウント　@jsptol8th2025
Instagram アカウント　jsptol8th2025
大会ホームページ：https://jsptol8th2025.wixsite.com/annualmeeting

研修会・講習会

理学療法技術講習会　身体運動学と理学療法

テ ー マ：身体運動学に基づく理学療法
内　　容：本講習会では、肩・股・膝関節を中心に運動学について講義し、それらの運動学に基づいた理学療法の理論と技術について講習する。具体的には、筋の運動学と機能、筋力低下の原因と筋力評価、筋力トレーニングの原則、肩・股・膝関節の運動学、関節の機能評価とトレーニングの実際、肩・股・膝関節のストレッチングの実際、下肢の筋力トレーニングの実際等について講義・実習を行う。
開催日時：
A：2025 年 8 月 2 日（土）9：30（開始）
－ 8 月 3 日（日）17：50（終了）
B：2026 年 1 月 31 日（土）9：30（開始）
－ 2 月 1 日（日）17：50（終了）
会　　場：京都大学医学部人間健康科学科
受 講 料：20,000 円
講　　師：
市橋則明（関西医科大学リハビリテーション学部）
建内宏重（京都大学大学院医学研究科）
定　　員：48 名
注意事項：
・登録理学療法士の更新用ポイントまたは認定・専門理学療法士の更新用点数のどちらを取得するかを申込時に選択してください。申し込み後に用途の変更はできません。
・申し込み締切後、受講可否の連絡をいたします。締切日から 1 週間を過ぎても受講可否の連絡がメールで届かない場合は、下記の問合せ先にご連絡ください。
・受講費振込後には、原則返金を致しません。
・申込方法：添付書類内記載の Google form のアドレスまたは QR コードからアクセスし、A・B を選択および必要事項をご記入の上、送信してください。
お問い合せ：
京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻
八木　優英
TEL：075-751-3948,
E-mail：kyoto.pt.seminar.kinesiology@gmail.com

第14回 日本支援工学理学療法学会学術大会のご案内

このたび、2025 年 12 月 20 日（土）～ 21 日（日）に北九州国際会議場にて「第 14 回 日本支援工学理学療法学会 学術大会」を開催いたします。本大会は 600 名規模を予定し、神奈川県理学療法士会会員の皆様におかれましても、ぜひご参加いただきたくご案内申し上げます。
本学会では、装具・義肢・車椅子・福祉用具をはじめ、DX・AI などの最先端テクノロジー活用や生活支援ツールなど、幅広い分野を横断する内容をご準備しております。教育講演、シンポジウム、ハンズオン、そして大会長記念講演を通じて、臨床×技術の融合を深化させる場を提供します。
また、理学療法士をはじめ、作業療法士、義肢装具士、エンジニア等の専門職が演題登録いただけます。
神奈川県理学療法士会の会員の皆様には、臨床現場に直結する最新技術と研究成果の共有にご期待いただける内容です。ぜひ演題発表ならびにご参加をご検討ください。
詳細および登録方法は、学会公式ウェブサイト https://14thjsatpt-fukuoka.group にてご確認いただけます。
ご多忙中とは存じますが、皆様の積極的なご応募とご参加を心よりお待ちしております。

【触診が苦手な方限定】第36期 6日で学ぶ評価・アプローチのための触診セミナー BASICコース 信頼される療法士の土台を作る

テ ー マ：触診を通して効率的な評価・アプローチの方法を身につける。
内　　容：
一ヶ月目
・触診の基礎とコツ
・体幹の関節・筋の触診
・体幹の関節・筋のアプローチ方法

二ヶ月目
・上下肢の関節・筋の触診 1
・上下肢の関節・筋のアプローチ方法 1

三ヶ月目
・上下肢の関節・筋の触診 2
・上下肢の関節・筋のアプローチ方法 2　など

＊詳しくは HP（https://lts-seminar.jp）よりを御覧ください。

開催日時：第 36 期（土日）
2025 年　10 月 4,5 日　11 月 1,2 日
12 月 6,7 日
9 時 30 分～ 16 時 30 分（休憩あり）
会　　場：ウィリング横浜 ゆめおおおかオフィスタワー
〒 233-0002　横浜市港南区上大岡西 1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー内
受 講 料：66,000 円（税込）
講　　師：大塚　久　登録理学療法士
2015 年 5 月療法士活性化委員会を立ち上げ。延べ 1,200 名の療法士が同委員会のセミナーに参加している。
定　　員：24 名限定（先着順）
注意事項：お申し込みは HP（https://lts-seminar.jp）よりお願いいたします。
お問い合せ：療法士活性化委員会事務局：
lts-info@lts-seminar.jp

第11回日本呼吸理学療法学会学術大会

テ ー マ：呼吸理学療法の未来を Sou-Zou（創造・想像・想造）する
内　　容：第 11 回日本呼吸理学療法学会学術大会が、2025 年 11 月 29 日（土）・30 日（日）に京都テルサ（京都市南区）にて現地開催されます。
詳細や最新情報につきましては、学会公式ホームページをご確認ください。
https://jsrpt2025.secand.net/index.html：第 11 回日本呼吸理学療法学会学術大会公式ホームページ
多くの皆様のご参加をお待ちしております。
開催日時：2025 年 11 月 29 日（土）・30 日（日）
会　　場：京都テルサ（〒 601-8047 京都府京都市南区東九条下殿田町 70）
お問い合せ：白石　匡（近畿大学病院 リハビリテーション部）
TEL：072（366）0221
E-mail：masashi-shiraishi@med.kindai.ac.jp

会　長　内田 賢一

会長行動報告

報告期間　　令和 7 年（2025 年）3 月 1 日～令和 7 年（2025 年）5 月 31 日
当該期間の会長職務の執行状況を報告します。

3 月	3 日	（月）	第 1 回組織強化検討委員会	Web
	6 日	（木）	第 45 回関ブロ学会　第 4 回準備委員会	Web
			常任理事会	Web
	8 日	（土）	神奈川県医療専門職連合会県民公開講座・職能セミナー	横浜情文会館
	11 日	（火）	神奈川トヨタ自動車株式会社打合せ	藤沢市民病院
	17 日	（月）	神奈川県三士会長会議	Web
	19 日	（水）	神奈川トヨタ自動車（株）安藤栄一社長と面会	神奈川トヨタ本社
	26 日	（水）	神奈川県医療専門職連合会理事会	Web
	27 日	（木）	第 7 回事業運営会議	Web
4 月	1 日	（火）	辞令交付	事務所
	3 日	（木）	第 45 回関ブロ学会　第 5 回準備委員会	Web
			第 1 回常任理事会	Web
	5 日	（土）	PT 協会第 1 回理事会傍聴	Web
	6 日	（日）	PT 協会第 1 回組織運営協議会	Web
	11 日	（金）	事務所運営意見交換会	事務所
	22 日	（火）	神奈川県病院協会吉田会長表敬訪問	横浜鶴見リハビリテーション病院
	24 日	（木）	PT 協会半田前長による田中まさし氏応援意見交換会	Web
			第 1 回事業運営会議	Web
	27 日	（日）	令和 7 年度新人オリエンテーション	神奈川公会堂
			事務所深新事務員の小田さん歓迎会	横浜
	30 日	（水）	顧問弁護士の阿部洸三先生と意見交換会	小田原
5 月	1 日	（木）	第 1 回常任理事会	Web
	11 日	（日）	令和 6 年度監事監査会	事務所
			外部理事・外部監事選定委員会	事務所
	13 日	（火）	第 1 回理事会	Web
	14 日	（水）	田中まさしと希望のある日本を創る会	TKP 赤坂カンファレンスセンター
	16 日	（金）	生涯学習と協会雑誌に関する検討会議	PT 協会事務所
	21 日	（水）	PT 協会定時総会事前検討会議	Web
	28 日	（水）	神奈川県医療専門職連合会理事会	Web
			PT 協会第 54 回定時総会議事運営委員会	Web
	30 日	（金）	横浜市立みなと赤十字病院の大川院長と面会	みなと赤十字病院

Gift
オリジナルカーシート
（150センチ程度まで）

そのほか当社では
福祉用具レンタル・販売
も取り扱っています

日本ウイール・チェアー株式会社
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31
TEL 042-463-1511 FAX 042-463-3730

NIHON WHEELCHAIRS
http://nwc-kurumaisu.com/

事務局

日本理学療法士協会会員証・協会マイページログインについて

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会　会員証」が届いていると思います。

今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必要になります。携帯する様にお願いします。

紛失･破損等による再発行は、**有料（500 円税別）**となりますので、ご注意下さい。

神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必須となります。

＊「ID･パスワード再発行」はログインページの「ログインできない方はこちら」をクリックし、再発行申請手続きを行ってください。

＊会員証・ID・パスワードの再発行の申請について詳しくは、日本理学療法士協会のホームページをご覧下さい。ご不明な点は、日本理学療法士協会へお問い合せをお願いいたします。

年会費（納入方法）

年会費の納入方法は「クレジットカード決済」または「口座振替」となります。

クレジットカード決済にご利用可能なブランドは次のとおりです。（決済手数料負担なし）

VISA ／ mastercard ／ JCB ／ AMERICAN EXPRESS ／ Diners Club

＊日本理学療法士協会マイページから随時変更可能です。

＊口座振替ご希望の方はお持ちの金融機関口座から引落出来ます。ご登録いただいてから引落決済が利用できるまでに 1 か月程度かかる場合があります。

＊いずれかの方法で決済ができない場合は、振込用紙を送付させていただきます。（納入手数料がかかります）

MAKERS OF PERFORMANCE PROSTHESIS & ORTHOSIS
SP-i 湘南義肢研究所
整形靴から義足、車いすまで

神奈川で半世紀
これからも気分の上がる装具をお届けします！

最新情報はFacebookで

横須賀市小川町27　TEL 046-822-6722 https://www.sp-i.net

編集後記

6月に入り、梅雨の始まりがニュースでも告げられ向暑の候に差し掛かるのかと思いきや連日の急な真夏日。昨日、山梨県の甲府市では38.2℃という記録的な猛暑に見舞われており梅雨はいったいどこへ行ってしまったのか、疑うような暑さの毎日ですが会員の皆様におかれましても熱中症等には気をつけてお過ごしください

さて第42回神奈川県理学療法士学会は「人と人を繋ぐ理学療法」がテーマになっています。理学療法士の仕事は患者様やご家族様、医療の現場や介護の現場の多職種の方々、先輩PTや後輩PTと数えだしたらきりがないほど多くの「人」との繋がりが重要な職業だと思います。私も普段は教育の現場で多くの学生達にこの「人」との繋がりの重要性を説きつつ、果たして自分自身多くの「人」とうまく？しっかり？繋がることはできているのか、自問自答することがあります。おそらく明確な正解等はないのだとは思いますが、清水先生が言うように一歩を踏み出して自分を知ってもらう、そこで貢献できることが自信となり、さらなる「人」との繋がりが生まれる。この言葉のようにまずは一歩、行動を起こしていくことが大事なことだと感じました。皆様も是非、神奈川県理学療法士学会に参加していただき、理学療法士の熱意、想いを繋ぎ、連携していきましょう。

上垣　亮太

神奈川県理学療法士会

神奈川県理学療法士会の
公式アカウントがあります。

研修会やイベント、県士会からの
重要な情報をLINEやXでお届けします！

X
QRコードをスキャンしてください

@720prcny
LINEの「友だち追加」から、ID検索するか
QRコードをスキャンしてください

友だち数　1219

・ニュース編集係員・
担当理事：西田 友紀子
（川崎幸病院）
係　　長：武田 正一
（横浜リハビリテーション専門学校）
委　　員：上垣 亮太
（横浜リハビリテーション専門学校）
須藤 ゆかり
（横浜リハビリテーション専門学校）

次号の原稿締め切りは**2025年9月1日**です。
岩崎学園 横浜リハビリテーション専門学校
理学療法学科（ニュース編集係宛）
news-hensyu@pt-kanagawa.or.jp
〈原稿は添付ファイルでお願いいたします〉
※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用ください。
円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくお願いいたします。